

平成 24 年 1 月 24 日

各 位

会 社 名 株式会社スパイア
代表者名 代表取締役社長 CEO 早川 与規
(コード番号 4309 JASDAQ)
問合せ先 取締役 CFO 小川 大介
電話番号 03 - 5469 - 6300

平成 23 年 12 月期連結業績見込と前年実績との差異及び 投資有価証券評価損の計上に関するお知らせ

平成 23 年 12 月期（平成 23 年 1 月 1 日～平成 23 年 12 月 31 日）の当社連結業績見込につきまして、前年（平成 22 年 1 月 1 日～平成 22 年 12 月 31 日）の実績値に対して、下記のとおり差異が生じる見込みとなりましたのでお知らせいたします。なお、平成 23 年 12 月期において減損処理による投資有価証券評価損を特別損失として計上する必要が生じたのであわせてお知らせいたします

記

1. 平成 23 年 12 月期の連結業績見込と前年同期の実績値との差異

(単位：百万円)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
平成 22 年 12 月期実績 (A)	8,881	139	133	117	円 銭 6 52
平成 23 年 12 月期見込 (B)	10,564	42	34	42	2 34
増減額 (B - A)	1,683	96	98	159	
増減率 (%)	18.9%	69.2%	74.0%		

2. 差異の理由

売上高につきましては、モバイル広告市場の成長に加え、大手媒体の拡販に積極的に取り組んだ結果、モバイル広告事業の売上が拡大し 10,564 百万円（前年同期比 18.9%増）となる見込みであります。

利益につきましては、新規事業領域であり高い成長性が見込まれるスマートフォン関連事業への先行投資を積極的に行ったことに加え、震災等の影響によりメール広告が減益となったことにより、営業利益は 42 百万円（前年同期比 69.2%減）、経常利益は 34 百万円（前年同期比 74.0%減）となる見込みであります。当期純利益は、当社本店移転に伴う減損損失 57,360 千円および「3. 投資有価証券評価損の計上について」に記載の投資有価証券評価損 24,567 千円等の特別損失を計上することにより、42 百万円（前年同期は 117 百万円の当期純利益）の当期純損失となる見込みであります。

3. 投資有価証券評価損の計上について

「其他有価証券」に区分される保有有価証券のうち、時価が著しく下落し、その回復があると認められないものについて、平成 23 年 12 月期において減損処理による投資有価証券評価損を特別損失として計上する必要が生じたのでお知らせいたします。

平成 23 年 12 月期における投資有価証券評価損

	単 体	連 結
(A) 平成 23 年 12 月期第 4 四半期会計期間 (平成 23 年 10 月 1 日から平成 23 年 12 月 31 日まで) の投資有価証券評価損の総額 (= イ - ロ)	24,567 千円	24,567 千円
(イ) 平成 23 年 12 月期 (平成 23 年 1 月 1 日から平成 23 年 12 月 31 日まで) の投資有価証券評価損の総額	24,567 千円	24,567 千円
(ロ) 直前四半期 (平成 23 年 12 月期第 3 四半期) 累計期間 (平成 23 年 1 月 1 日から平成 23 年 9 月 30 日まで) の 投資有価証券評価損の総額	千円	千円

四半期会計期間における有価証券の評価方法は、切放し方式を採用しております。
当社の決算期末は、12 月 31 日です。

以 上